

# 環境マネジメントシステム

## カシオ版環境マネジメントシステム (EMS)

カシオは、グループ全体の環境マネジメントシステムの網羅性を高めるために、ISO 14001の認証取得と並行して、2008年度に独自の環境マネジメントシステムを構築しました。

国内外の非生産系関連会社を中心とした小規模事業所（営業所など）では、現実的にはISO 14001の運用が困難な場合が多いので、このカシオ版環境マネジメントシステムは、現場に即した項目に特化し、運用の簡便性を図ったものになっています。

現在、改正省エネ法の報告内容に即した運用の見直しなどで若干導入が遅れていますが、2009年度より、国内拠点から運用を開始し、海外拠点まで進め、カシオグループの環境マネジメントシステムの網羅性と環境負荷情報の網羅性100%を目指します。

今まで環境負荷データを取れていなかった事業所も、簡便に集計ができるようになることによって、カシオグループ全体での環境負荷の低減のための取り組み施策が立てやすくなるので、エネルギー管理を一元化する形へ進化させていきたいと考えます。

## 環境の内部監査

カシオでは、羽村技術センターを中心に、2000年から、外部教育機関が主催するISO 14001の内部環境監査員の養成セミナーを利用して、受講終了者は既に57名になっています。

この内部環境監査員が、ISO 14001の監査に際して、事前監査を行っています。

さらに、2008年には環境審査員補の資格取得のための環境審査員の研修セミナーも受講を開始しており、将来的には内部環境監査員の養成も、カシオグループ内でできるようにしていくことを考えています。

## エコプロダクツ2008に出展

2008年12月11日～13日、カシオは第10回「エコプロダクツ2008」（会場：東京ビッグサイト）に出展しました（第1回から継続出展）。750以上の企業・団体が環境配慮型製品やサービスなどを紹介、過去最大の173,917人が来場する中、今回カシオは、「美しい地球と未来の子供たちのために—テクノロジーとエコロジーの調和—」をテーマに、森をイメージしたブースを設置しました。カシオの環境への取り組みを映像とナレーションで解説し、商品のどの部分が環境にやさしいのかなどをわかりやすく展示しました。また、小学生を対象にした電卓組み立て体験、メッセージボードの展示、クイズラリーなどの企画により、多くの方にご来場いただきました。

来場者数の増加だけでなく、展示の見方や質問内容からも、一般の方々のエコへの関心や知識が年々高まっていることを強く実感します。今後も、カシオの環境への取り組みを広く発信していきます。



子供たちにモノづくりの楽しさを体験していただく「電卓の組み立て体験」は毎年人気のコーナーです

エコ宣言のパネルに、たくさんの方々からメッセージを寄せていただきました。特に若い方々のエコに対する関心の高さに驚きました

## CESへの参加

カシオは、2007年から継続してConsumer Electronics Show（米国ラスベガス）で展示を行い、カシオの環境への取り組みを紹介しています。2009年1月8日～11日に開催されたCES2009では、下記の内容を取り上げました。

- 環境適合（グリーン）商品  
デジタルカメラ・時計・携帯電話で、カシオのコア・コンピタンスである省エネ、省資源技術を紹介
- 包装容積の縮小による輸送時のCO<sub>2</sub>削減効果  
デジタルカメラ、時計の梱包箱を用いて紹介
- 環境ビデオ  
カシオアメリカにおけるKids' ISOの取り組み上映
- 環境経営ビジョンとグリーン商品コンセプト



## 従業員の声

出展団体の環境展示は、2007年はカシオとCEA (Consumer Electronics Association) の2団体だけでしたが、2009年は約30団体と大幅に増えました。その傾向として、製品展示では省エネ・省資源や特定有害物質の排除、再生可能エネルギーの利用などで優位性を訴求していること、その他の取り組み紹介では環境経営方針や社会貢献活動、リサイクル回収システムといったコンプライアンス情報の開示を行い、ブランドイメージの向上を図っているケースが多く見られました。環境への取り組みが企業経営姿勢を表現する手法として、ワールドワイドに認知されてきており、これからも一層力を入れて、カシオの環境への取り組みについてアピールしていきます。

環境センター  
大塚 秀則



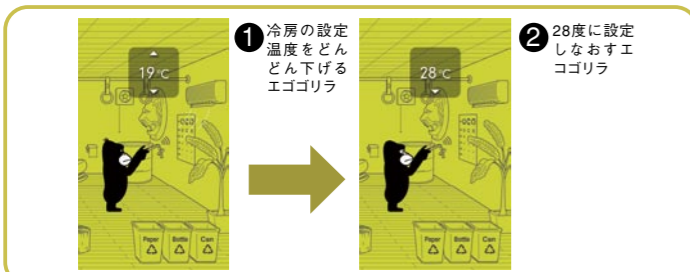
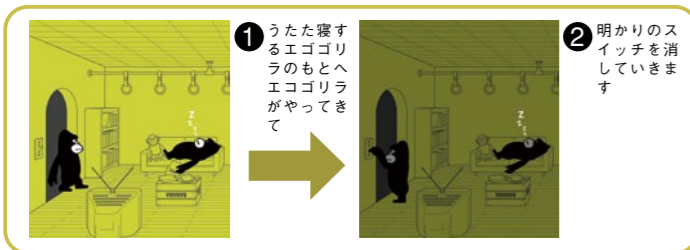
# 環境コミュニケーション

カシオは、環境への取り組みにおいて、すべてのステークホルダーの皆様とコミュニケーションをとっていただくことを大切にしています。「見て」「触れて」「体験」していただく展示会も、重要なコミュニケーションの場です。

## エコゴリラとエゴゴリラ

今やコミュニケーションツールとして欠かせない携帯電話ですが、カシオW62CAの画面には、環境にやさしい行いをする「エコゴリラ」と、ちょっと困った行いをしてしまう「エゴゴリラ」

が登場します。この2匹の行動を画面上で楽しんでいるうちに、エコを身近に考える習慣にもなり、また、ゴリラ=希少動物、種の保存といった環境問題にもそれとなく触れてもらう機会を提供しています。



商品や梱包・輸送などにおける、省エネ・省資源・長寿命・CO<sub>2</sub>削減の取り組みをわかりやすく展示しました